

## 北海道遺産

# ニッカウヰスキー余市蒸溜所



北海道遺産 ニッカウヰスキー余市蒸溜所

「日本のウイスキーの父」と呼ばれる、ニッカウヰスキー創業者 竹鶴政孝は、常に理想のウイスキーづくりを追い求めていた。そんな中、製造工場はスコッチウイスキーの本場スコットランドに似た風土の北海道に作るべきだと考え、澄みきった空気と夏でも冷涼な気候に加え、余市川の良質な水にも恵まれた北海道余市町をウイスキー作りの最適地として定めた。そして、ニッカウヰスキー余市蒸溜所は昭和11年、蒸溜釜(ポットスチル)に火が入れられウイスキーの製造が開始されて以来、当時と変わらない製法でウイスキーの蒸溜、製造を行っている。



石炭を燃料とする直火焚きポットスチルは現在も稼働。

芳醇に輝く日を待ち続ける原酒たち。



見学工場内にはバーカウンターも設置。



異国から嫁いだ妻－竹鶴リターに

『マッサン』と呼ばれた夫

－竹鶴政孝－は、この土地、余市で、  
世界に誉れ高いウスキーを作り上げた。



見学スポット情報

ニッカウヰスキー余市蒸溜所

住所 北海道余市町黒川町7丁目6

お問合せ 0135-23-3131(ご案内係)

無料ガイドあり

お問合せ関連

余市町ホームページ <http://www.town.yoichi.hokkaido.jp/>